

2017 年 8 月 30 日

高出力ファイバーレーザ加工機 “OPTIPLEX FIBER III (8kW)”シリーズ

ヤマザキマザック株式会社(社長:山崎智久、愛知県大口町、TEL:0587-95-1131)は、高出力の8kW 発振器を搭載し、さらに加工能力を高めたファイバーレーザ加工機「OPTIPLEX FIBER III (8kW)」シリーズを発表します。

OPTIPLEX FIBER III (8kW)シリーズは、高出力化と送り軸の加速度向上により、従来機と比較して素材や板厚を問わず生産性が大幅に向上、さらには厚板軟鋼の窒素加工にも対応するなど高い加工性能を実現しています。

CNC 装置は19インチの大型タッチパネルを採用した「MAZATROL PreviewG」を搭載し、加工プログラミング時の操作性を向上させています。また、レーザ光を最適制御する「マルチコントロールトーチ」や各種「インテリジェント機能」、加工条件の一元管理・他機への展開を容易にする「加工条件ネットワーク共有機能」や QR コードの読み取りで加工プログラムを呼び出す「QR コードリーダ機能(オプション)」などにより、高品質な加工と段取り時間のさらなる削減を実現しています。

自動化対応では、拡張性のある自動化システムとして定評のある EMC(Extensible Manufacturing Cell) や QUICK CELL 3015 などマザック製システムとの接続のほか、システムインターフェースのオープン化により他社製システムとの接続にも対応し、柔軟なシステム構築を可能としています。

当社は9月5日、6日に美濃加茂製作所ワールドテクノロジーセンタで開催する「マザック レーザテクノロジーフェア」に同機を出展し、全世界での販売を開始します。



ファイバーレーザ加工機 “OPTIPLEX FIBER III (8kW)”シリーズ

お問合せ先 : ヤマザキマザック株式会社 経営企画室 広報
TEL:0587-95-6849 www.mazak.jp

掲載されているプレスリリース内容は、報道関係者へ発表した情報の要約です。

ご覧の時点で予告無く情報変更が行われている場合がありますので、あらかじめご了承ください